徳島県災害時情報共有システム
入力訓練（３月１３日(月)）

徳島県保健福祉部医療政策課広域医療室

南海トラフ巨大地震が発生

３月１３日（月）午前５時４６分、
徳島県沖を震源とするマグニチュード９の地震が発生。
徳島県内全域で震度６強～７の揺れを観測した。
沿岸部では津波も襲来し、各地で大きな被害が発生している。

すだちくんメール初期画面

「https://s.ourtokushima.jp/」にアクセス。

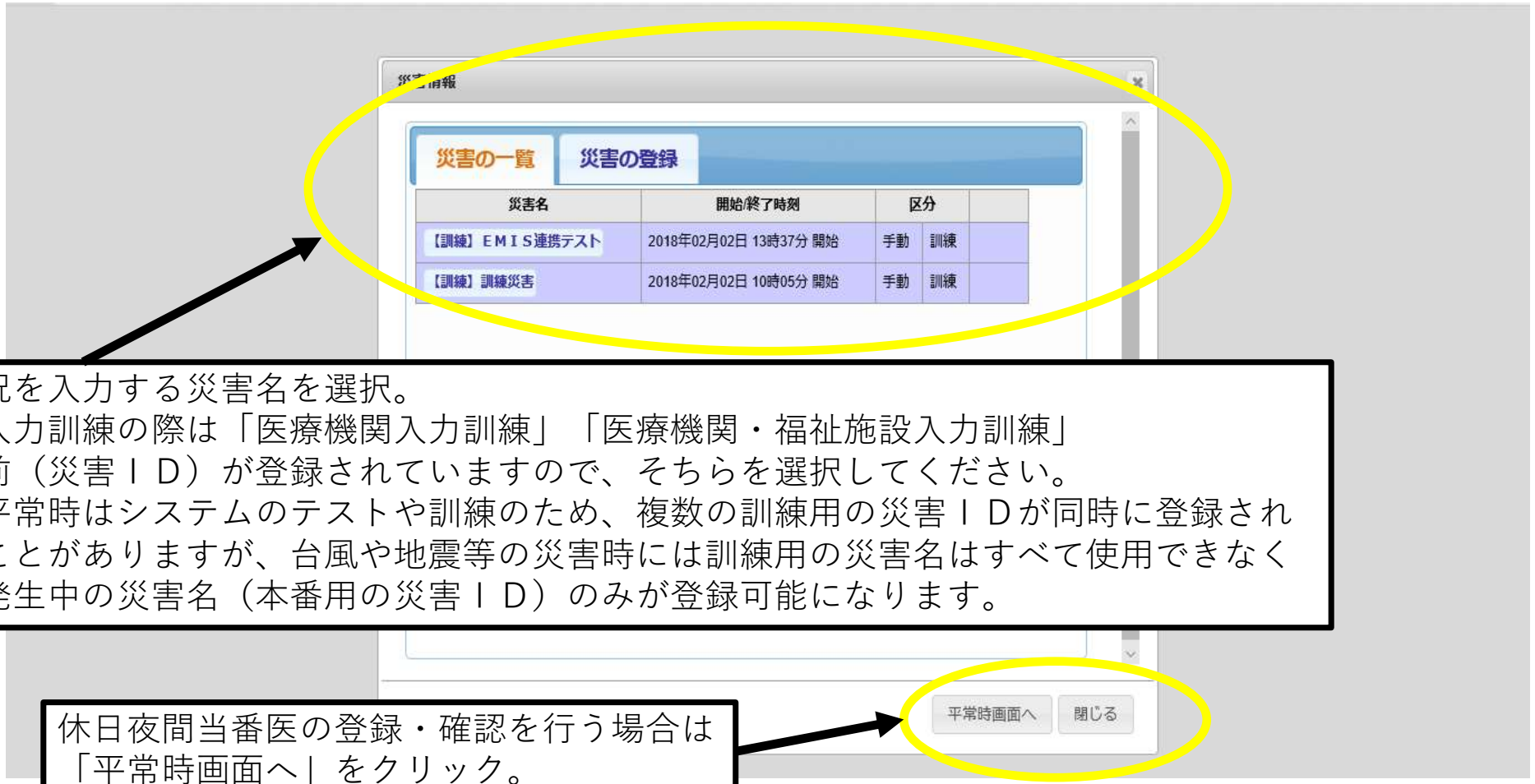
ログイン画面

こちらも従来の画面と変わりません。
すだちくんIDとパスワードを入力して、
ログインをクリック。

ログイン後の画面

こちらも従来の画面と変わりませんが、
旧システムと比べるとリンクが一部減っている場合があります。
「災害時情報共有システム」もしくは「広域災害医療情報」をクリック。
（どちらをクリックしても、同じ画面に移行します）

災害情報選択画面



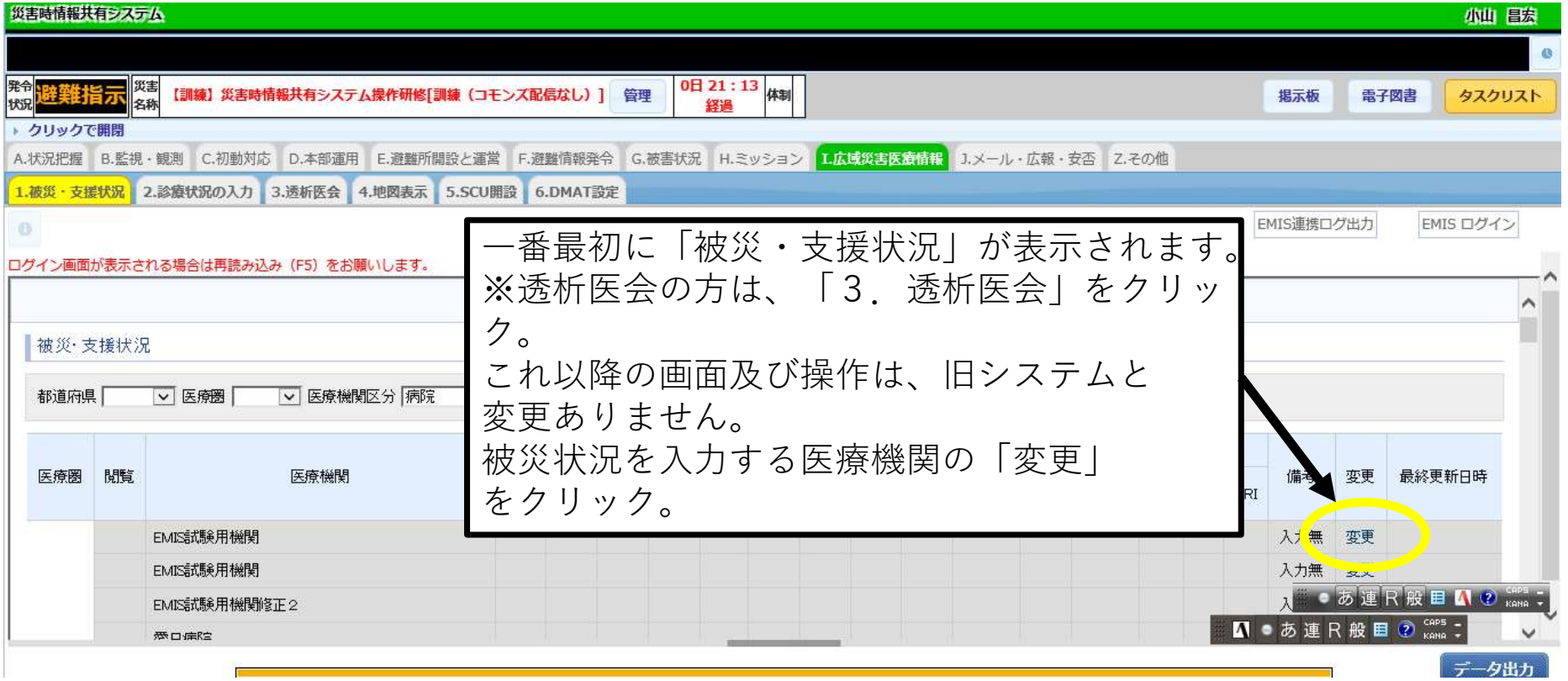
被災状況を入力する災害名を選択。
月例の入力訓練の際は「医療機関入力訓練」「医療機関・福祉施設入力訓練」
等の名前（災害ＩＤ）が登録されていますので、そちらを選択してください。
なお、平常時はシステムのテストや訓練のため、複数の訓練用の災害ＩＤが同時に登録されていることがありますが、台風や地震等の災害時には訓練用の災害名はすべて使用できなくなり、発生中の災害名（本番用の災害ＩＤ）のみが登録可能になります。

休日夜間当番医の登録・確認を行う場合は
「平常時画面へ」をクリック。

災害選択後初期画面（画面表示に時間がかかる場合があります）

災害名を選択すると、このような画面に移行します。
被災状況を入力する場合は「Ｉ.広域災害医療情報」をクリック。
（これが表示されていない場合、医療機関の被災状況を入力する権限がありません。入力できるようにするには県側で作業を行う必要がありますので、ご連絡ください）

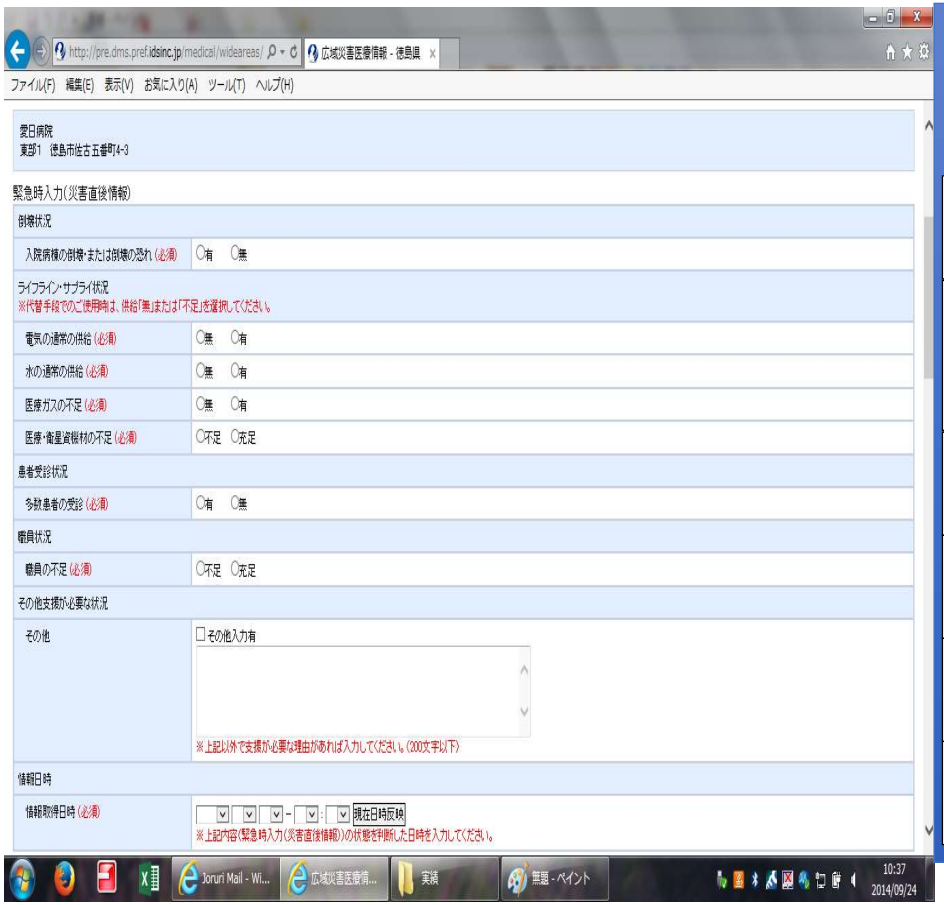
広域災害医療情報初期画面



一番最初に「被災・支援状況」が表示されます。
※透析医会の方は、「３．透析医会」をクリック。
これ以降の画面及び操作は、旧システムと変更ありません。
被災状況を入力する医療機関の「変更」をクリック。

緊急時入力項目

※旧システムと共通



緊急時入力（医療機関情報）

発災直後の医療機関情報（医療機関として機能しているか、支援が必要か）の入力を行う。

①倒壊状況
入院病棟の倒壊又は、倒壊の恐れがあることで患者の受け入れが困難な場合“有”を選択する。

②ライフライン・サプライ状況
ライフライン・サプライ（電気、水、医療ガス、医薬品・衛生資器材）の使用不可・不足により医療行為が行えない場合“無”または“不足”を選択する。

③患者受診状況
キャパシティのオーバーによってこれ以上患者の受け入れが困難な場合“有”を選択する。

④職員状況
職員の不足によって治療行為が行えない場合には、“不足”を選択する。

⑤その他
①～④以外の理由で支援が必要な場合にその他欄にフリーで理由の入力を行う。（２００文字以下）

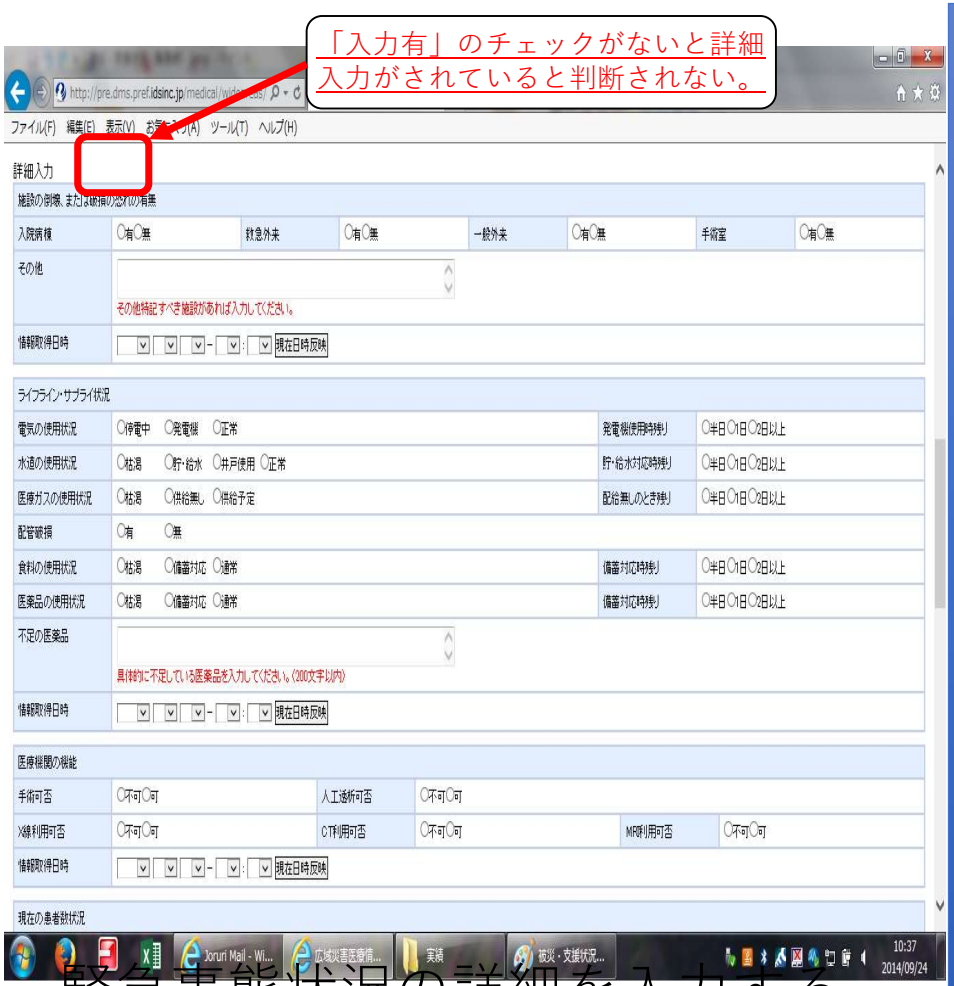
⑥情報日時
①～⑤の状況を把握した日時を入力する。

緊急事態となっている状況を入力する。

被害が無い場合も、必ず入力してください。

詳細情報入力項目（画面上部）

※旧システムと共通



緊急事態状況の詳細を入力する

詳細入力（医療機関情報）

医療機関の情報がある程度把握できた頃に入力を行う。医療機関の状況、災害医療の実績を入力する。

①施設の倒壊、または破損の恐れの有無

医療機関の施設の倒壊又は、破損の恐れがある状況の有無を選択する。その他には、その他の施設の倒壊状況を入力する。

②ライフライン・サプライ状況

現在のライフライン・サプライの状況を個別に選択する。不足の医薬品欄には、不足している医薬品名を入力する。

③医療機関の機能

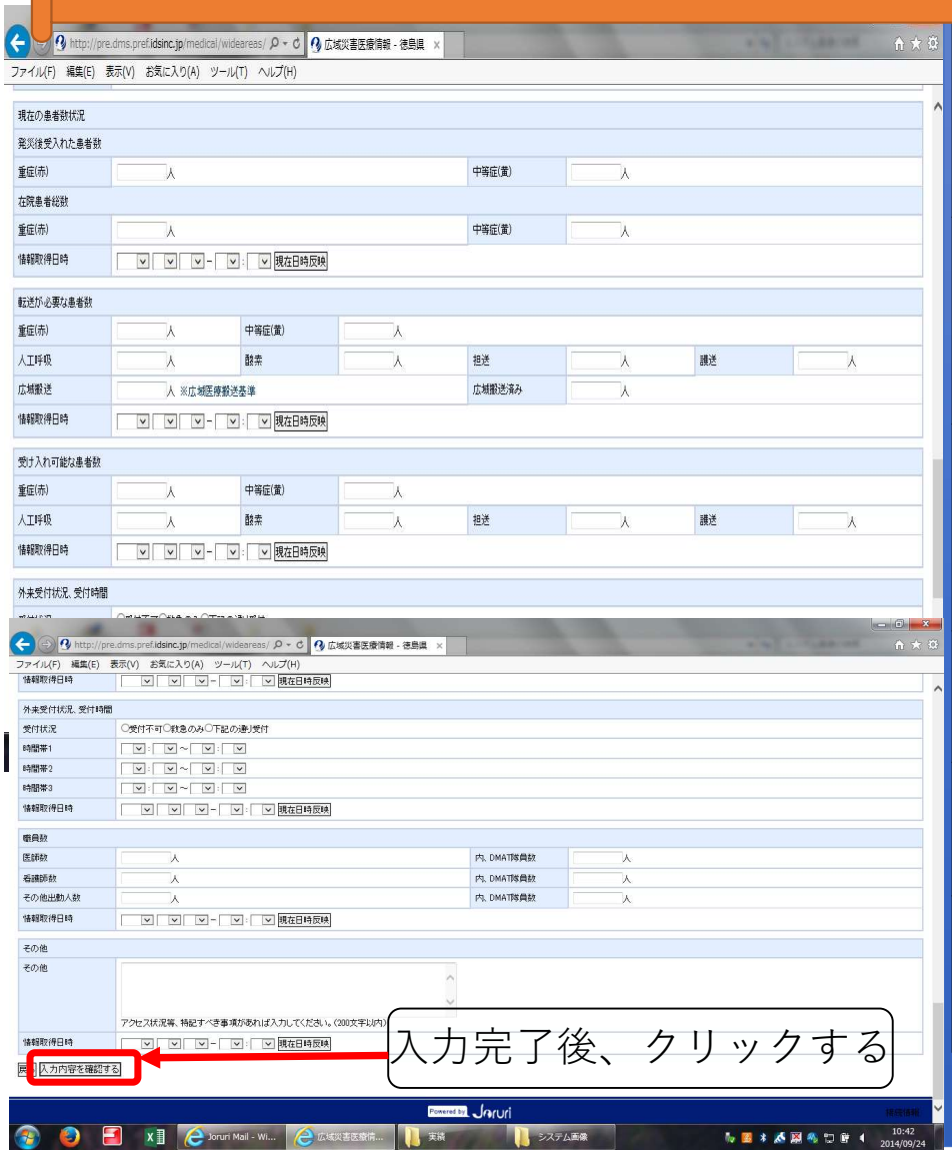
現在の医療機関の機能の状況を個別に選択する。

※緊急時入力と齟齬がないか確認をお願いします。

※項目ごとに、情報を取得した日時を入力する。

詳細情報入力項目（画面下部）

※旧システムと共通



④現在の患者数状況

「発災後、受け入れた患者数」には、発災後受け入れた患者数の累計を入力する。

「在院患者数」には、入院患者を含め、現在院内にいる患者の総数を入力する。

⑤今後、転送必要な患者数

入院患者を含めた在院患者のうち、転送が必要な患者数を入力する。人工呼吸/酸素が必要な患者数、担送/護送者数を入力することで、どのような患者の転送が必要かを発信する。

⑥今後、受け入れ可能な患者数

今後、受け入れが可能な患者数を入力する。

人工呼吸／酸素が必要な患者数、担架／護送者数を入力することで、どのような患者の受け入れが可能かを発信する。

⑦外来受付状況、受付時間

外来受付の状況を入力する。

⑧職員数

現在の医療機関に出勤している職員数を入力する。

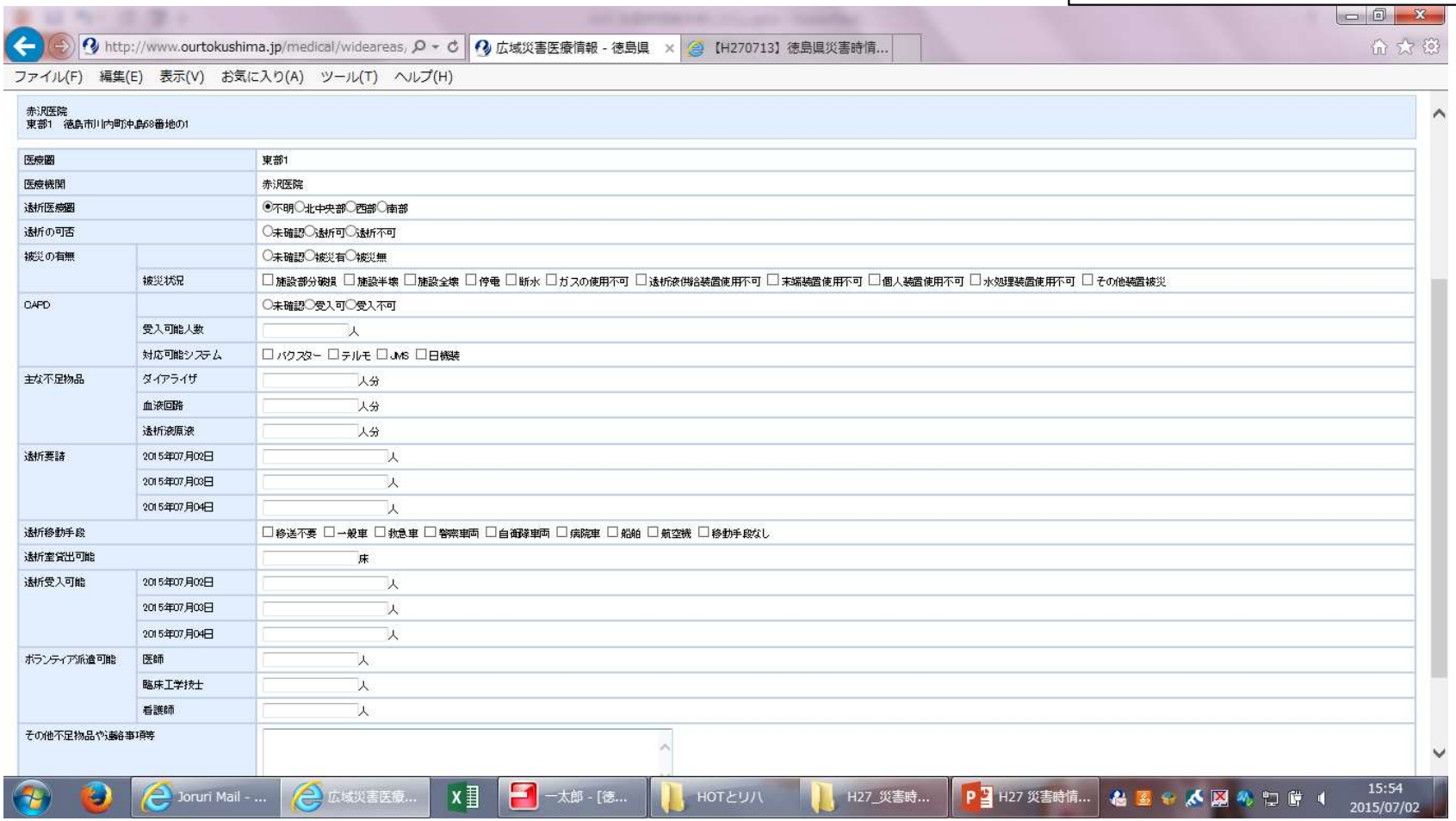
⑨その他

その他、①～⑧以外の特記する事項（自医療機関周辺のアクセス状況等）をフリー入力する。

※項目ごとに、情報を取得した日時を入力する。

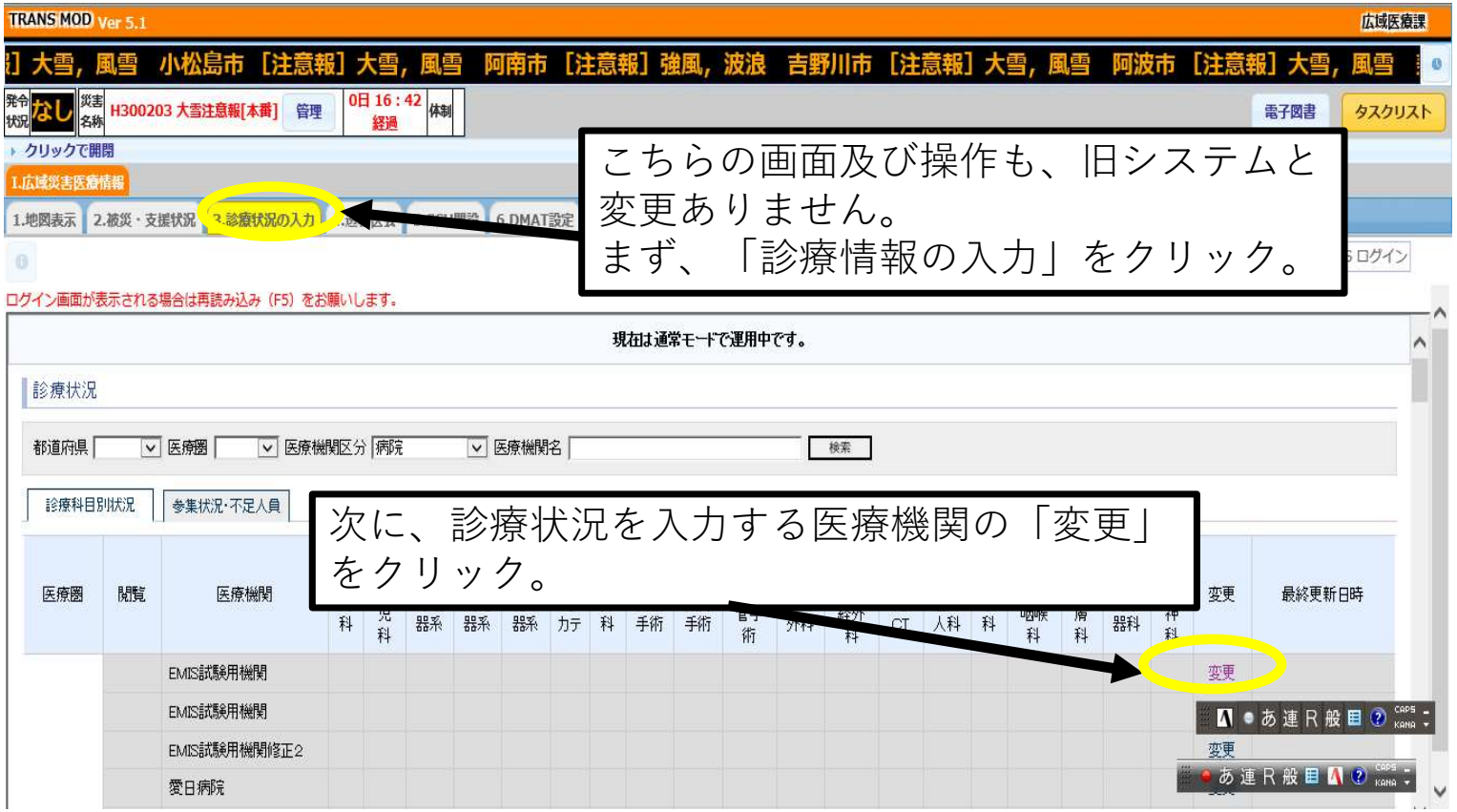
1）医療機関の被災状況等を入力する

※透析医会の方の場合
（こちらも旧システムと共通）



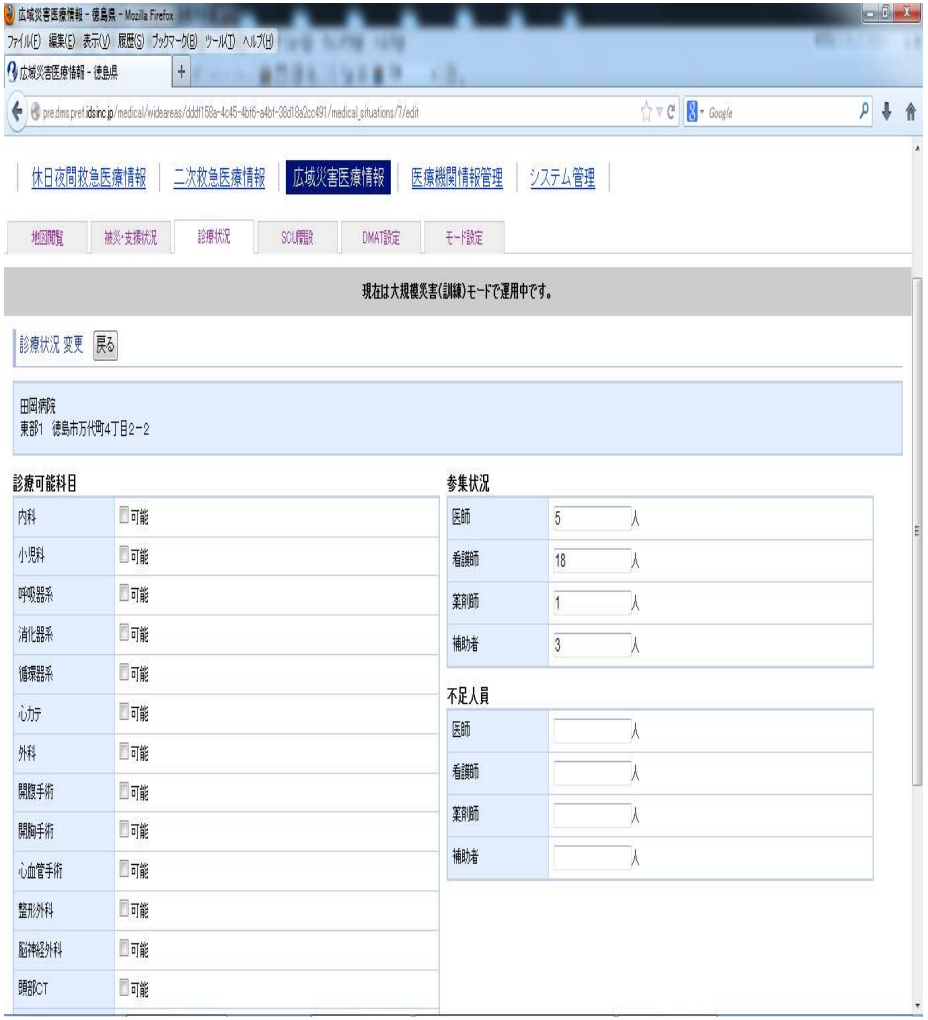
※透析医療機関（自施設）の状況を入力してください。

診療情報入力画面


TRANS MOD Ver 5.1
広域医療課
大雪，風雪　小松島市［注意報］大雪，風雪　阿南市［注意報］強風，波浪　吉野川市［注意報］大雪，風雪　阿波市［注意報］大雪，風雪
発令状況 なし
災害名称 H300203 大雪注意報[本番]
管理
0日 16：42 経過
体制
電子図書
タスクリスト
クリックで開閉
1.広域災害医療情報
1.地図表示
2.被災・支援状況
3.診療状況の入力
6.DMAT設定
ログイン
ログイン画面が表示される場合は再読み込み（F5）をお願いします。
現在は通常モードで運用中です。
診療状況
都道府県
医療圏
医療機関区分 病院
医療機関名
検索
診療科目別状況
参集状況・不足人員
医療圏
閲覧
医療機関
変更
最終更新日時
EMIS試験用機関
変更
EMIS試験用機関
EMIS試験用機関修正2
変更
愛日病院
こちらの画面及び操作も、旧システムと変更ありません。
まず、「診療情報の入力」をクリック。
次に、診療状況を入力する医療機関の「変更」をクリック。

診療状況入力項目

※旧システムと共通



診療状況入力（医療機関情報）

参集した医師、看護師、薬剤師等の状況、診療可能な診療科目、不足している人員数を入力する。

①診療可能科目

参集した医師、看護師、薬剤師等の状況を考慮し、診療可能な科目にチェックを入れる。

②参集状況

現在、医療機関に出勤している医師、看護師、薬剤師、その他事務等の職員数を入力する。

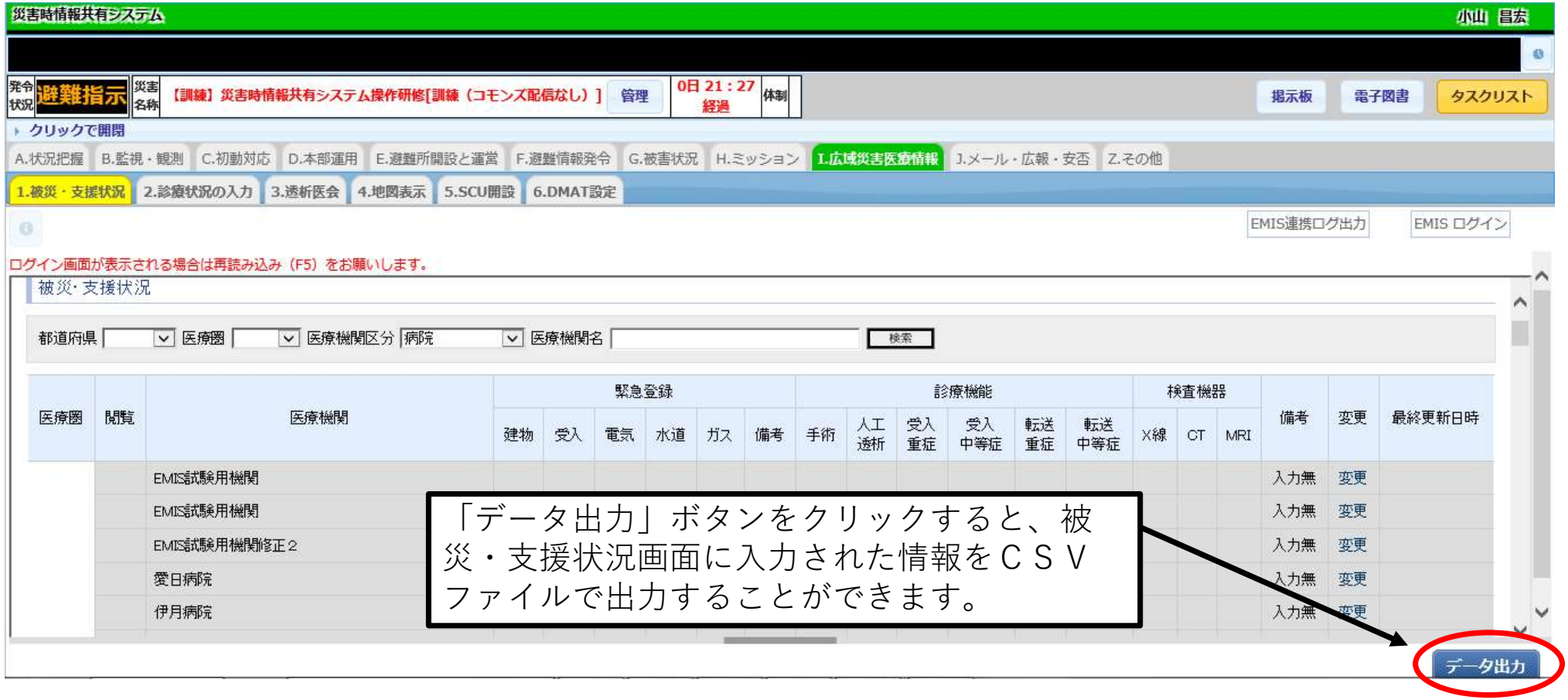
③不足人員

入院患者の対応を含め、病院機能を維持するために必要な人数に対して、不足がある場合に、不足人数を入力する。

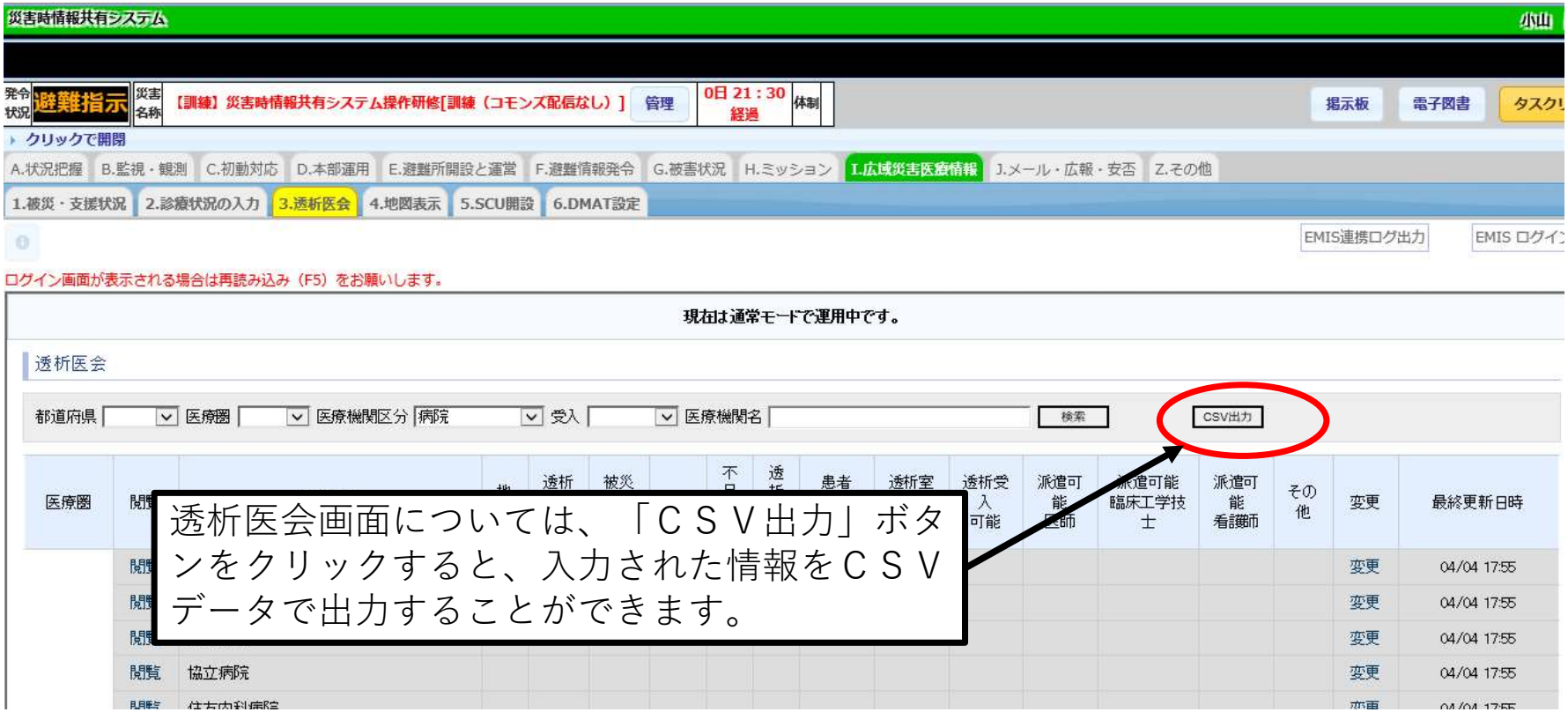
地図機能について

「４．地図表示」をクリックすると、地図が表示されます。
　地図には県内の医療機関が表示されており、医療機関の被災状況をはじめ、道路の通行止め情報や開設された避難所の情報等が把握できるようになっています。

データ出力機能について



データ出力機能について（透析医会）



その他の操作

システムの右上に、ログインした方の氏名が表示されます。
氏名の上にマウスポインタを置くと、
以下のメニューが表示され、クリックで選択できます。
（権限によってはこれ以外のメニューが表示される場合があります）

「地図非表示」……システムの地図を非表示にします。
「権限」……システムに登録されているすだちくんＩＤ等の権限を
設定する画面を表示します。
（システム管理者用のメニューであり、
通常はクリックしても空白の画面が開くのみで、
操作はできません）
「すだちくん」……すだちくんメールの初期画面に戻ります。
「災害一覧」……災害名の選択画面に戻ります。

災害発生時のシステム自動立ち上げ

・県内に震度４以上の地震が発生したとき
・県内に気象警報が発令されたとき
　自動的に本番用の災害ＩＤが発行され、システムへの被災状況入力が可能となります。

　大規模災害が発生した時は、県からの連絡が無い場合でも、可能な範囲でシステムをチェックするよう、お願いいたします。